

2006年3月期<第134期>

決算説明会

2006年5月25日



SHOFU INC.

本日のご説明内容

- 2006年3月期 連結業績の概要
- 今後の事業環境及び中長期戦略
- 2007年3月期 連結業績見通し

取締役社長	太田 勝也
常務取締役 管理本部長	白波瀬 文雄
取締役 営業部長	西田 喜直
取締役 研究開発部長	根來 紀行

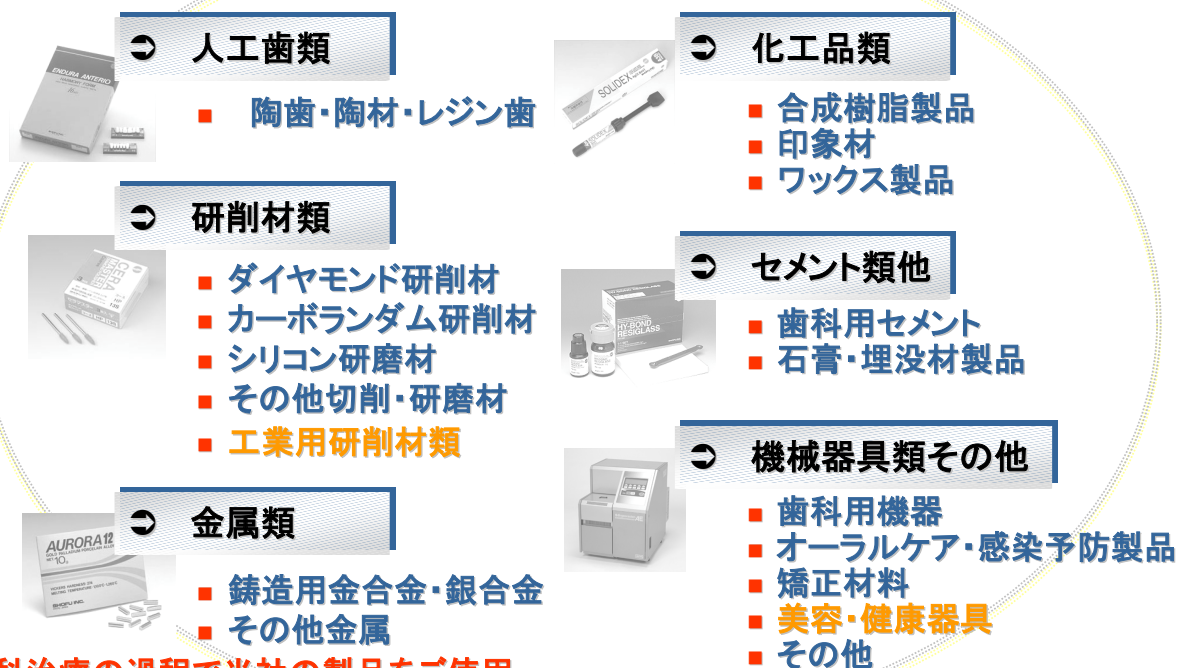
SHOFU INC.

会社の概要

- 会社名 株式会社 松風 (SHOFU Inc.)
- 代表者 取締役社長 太田 勝也
- 所在地 京都市東山区福稲上高松町11番地
- 設立 大正11年(1922年)5月15日
- 資本金 4,474,646,614円
- 上場取引所 大阪証券取引所(市場第二部)
(1989年11月9日上場)
- 従業員数 418名(グループ:676名、うち海外177名)
- 事業内容 歯科器材の製造販売
- 主要販売先 (代理店経由) 歯科医療機関
- グループ会社 9社(国内3社、海外6社)

主要取り扱い製品

歯科医療に使用される材料・機器 全般の
製造販売を行っております。



歯科治療の過程で当社の製品をご使用
いただいております。

別添「製品プロフィール」をご参照ください



⇒ トピックス

⇒ トピックス

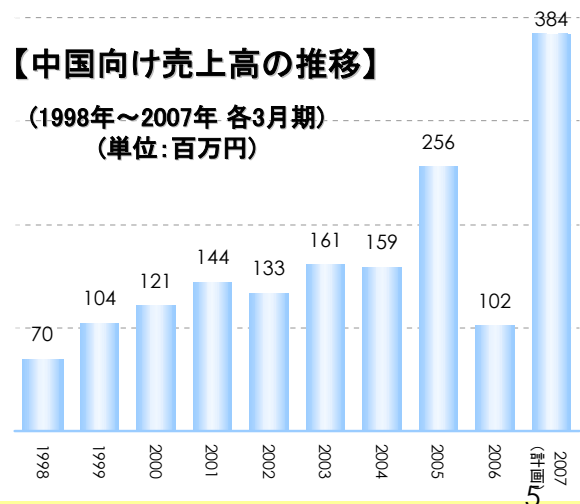
中国での販売会社設立

- 商号 松風歯科器材(上海)有限公司
SHOFU Dental Supplies (Shanghai) Co.,Ltd.
- 設立年月日 2005年8月29日
(営業開始:2006年1月)
- 所在地 上海市松江区佘山工業区
- 代表者 董事長 関 敏明
(当社 常務取締役)
- 資本金 100万USドル
- 株主構成 当社 100%
- 事業内容 中国国内向け歯科材料、
歯科用機器の販売
- 従業員数 24名(2006年3月期末)
- 初年度売上高 3.8億円(2006/12期計画)



【中国向け売上高の推移】

(1998年～2007年 各3月期)
(単位:百万円)



顧客向け研修センターの建設に着工

- 目的 歯科診療、歯科技工、歯科予防衛生に関する研修
- 対象 歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士
- 所在地 京都本社工場内
- 完成予定 2006年8月
- 総工費 約6億円
- 施設概要 地上4階、地下1階
延床面積約1,910㎡
診療研修室、技工研修室、
各専用機器・設備
講演会用ホール他
- 期待される効果
歯科医療レベルの向上と当社製品の特性を知っていただくこと
による販売促進効果



⇒ 2006年3月期 連結業績の概要

決算概要

■ プラス要因 ■ マイナス要因

P/L

- 新製品は順調に発売<新製品売上高:1,684百万円・13.1%>
- 医療費3割負担の影響も多少弱まり、歯科医療費が増加に転じるなど明るい兆しが窺える中、新製品効果から、国内売上高は2.6%増収 [3期ぶりの増収]
- 海外売上高は、中国向け在庫調整、ドイツ医療制度改革によるマイナス影響はあったものの、米国の回復基調が見られ、台湾・韓国向けも堅調に推移、全体としては4.0%増収
- 売上高は14,650百万円(2.9%増収) [過去最高]
- セールスマックスの好転、コストダウン効果などから原価率は0.7ポイント低減、営業利益は1,308百万円(9.6%増益)
- 営業利益の増加に加え、受取配当金の増加など営業外収益の好転により、経常利益は1,344百万円(12.4%増益)

B/S

- 株価の上昇により有価証券評価差額金は増加
- 退職給付債務相当額の年金資産確保

C/F

- 税金等調整前当期純利益<1,358百万円>、売上債権の減少<460百万円>などから、営業キャッシュフローが大幅増加(前期 279百万円→1,808百万円)

当期業績の概要

単位:百万円、%

	2005/3期	2006/3期	前期対比
	金額 (対売上率)	金額 (対売上率)	金額 (率)
売上高	14,231 (100.0)	14,650 (100.0)	418 (2.9)
(国内売上高)	11,057 (77.7)	11,350 (77.5)	292 (2.6)
(海外売上高)	3,173 (22.3)	3,299 (22.5)	126 (4.0)
営業利益	1,194 (8.4)	1,308 (8.9)	114 (9.6)
経常利益	1,200 (8.4)	1,344 (9.2)	143 (12.0)
当期純利益	794 (5.6)	822 (5.6)	28 (3.5)
1株当たり当期純利益	47.91円	49.42円	
株主資本利益率	4.55%	4.39%	

製品分類別売上高

金額単位:百万円
()内は構成比率、増減率、単位%

	2005/3期	2006/3期	前期対比
人工歯類	2,800 (19.7)	2,697 (18.4)	△ 102 (△3.7)
研削材類	3,479 (24.4)	3,659 (25.0)	180 (5.2)
金属類	469 (3.3)	462 (3.2)	△ 6 (△1.4)
化工品類	2,673 (18.8)	2,748 (18.8)	75 (2.8)
セメント類他	1,384 (9.7)	1,531 (10.4)	147 (10.7)
機械器具類その他	3,425 (24.1)	3,549 (24.2)	124 (3.6)
合計	14,231 (100.0)	14,650 (100.0)	418 (2.9)

国内売上高

金額単位:百万円

■ プラス要因 ■ マイナス要因

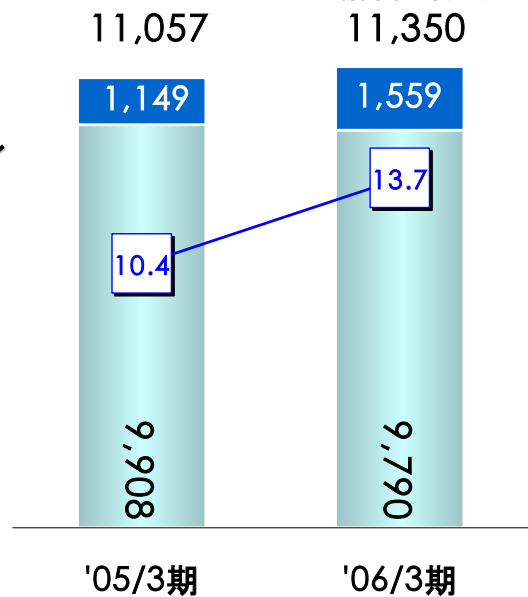
■ 既存品(ー)

■ 歯科医療費が増加に転じるなど明るい兆しが窺え、市場環境としてはやや好転

■ 主力の人工歯類の不振、新製品による旧来品との置き替えなどから減収

■ 新製品は順調に発売(+)

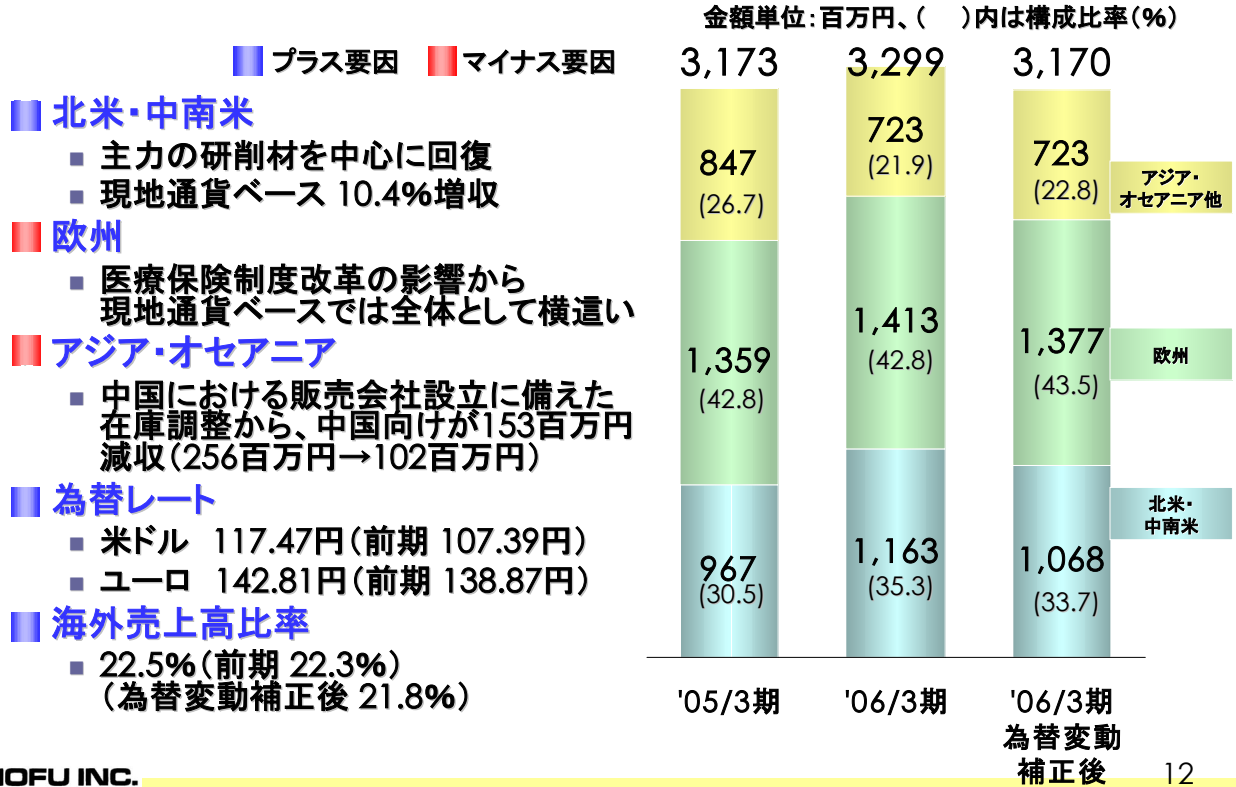
- グラスアイオノマー系レジンセメント
「ハイボンドレジグラス」 173百万円
- 常温重合レジン「プロビナイス」 206百万円
- 歯科用自動鑄造機
「アルゴンキャスターAE」 178百万円
- 前臼歯対応歯冠用硬質レジン
「セラマージュ」 151百万円
- 歯科用デジタルカメラ
「アイススペシャル I・II」 204百万円
- ホームホワイトニング材料
「ハイライトシェードアップ」 69百万円



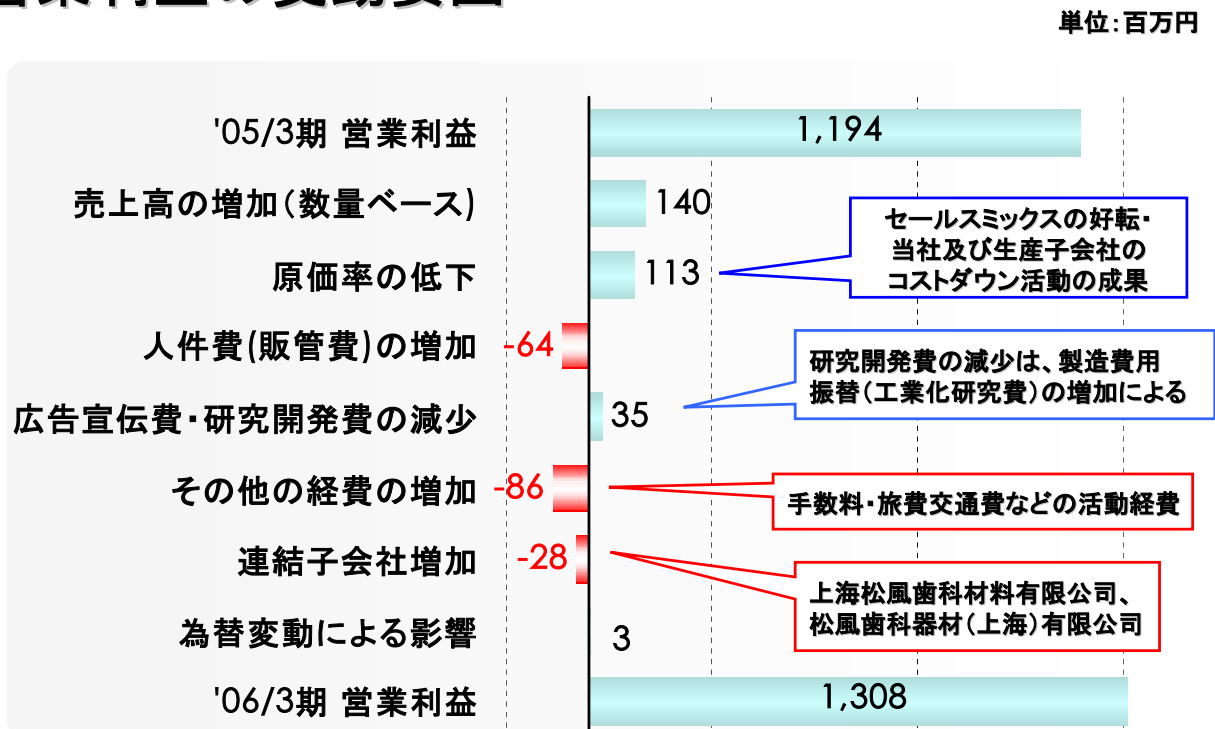
■ 既存品 ■ 新製品
□ 新製品比率(%)(対国内売上高)

グラフ中の「新製品」は、最近3年間の発売品であります。1

海外売上高



営業利益の変動要因



財政状態～貸借対照表主要科目

金額単位:百万円

	'05/3期	'06/3期	対比	主な変動要因・特記事項
現金預金	5,254	6,558	1,304	
受取手形・売掛金	2,963	2,518	△ 444	
棚卸資産	2,982	2,910	△ 71	
有価証券・投資有価証券	5,642	7,464	1,822	有価証券評価差額増加 1,804百万円
その他	5,174	5,533	359	
資産	22,016	24,985	2,969	
長期・短期借入金	1,045	1,035	△ 10	有価証券評価差額金増加による 繰延税金負債増加 732百万円
退職給付・役員退職引当金	573	501	△ 72	
その他	2,516	3,873	1,356	
負債	4,135	5,409	1,274	
株主資本	17,881	19,576	1,695	有価証券評価差額増加 1,072百万円
負債・資本合計	22,016	24,985	2,969	
株主資本比率	81.2%	78.4%		
1株当たり株主資本	1,122円	1,231円		

期末退職給付債務 4,991百万円
時価年金資産残高 5,688百万円

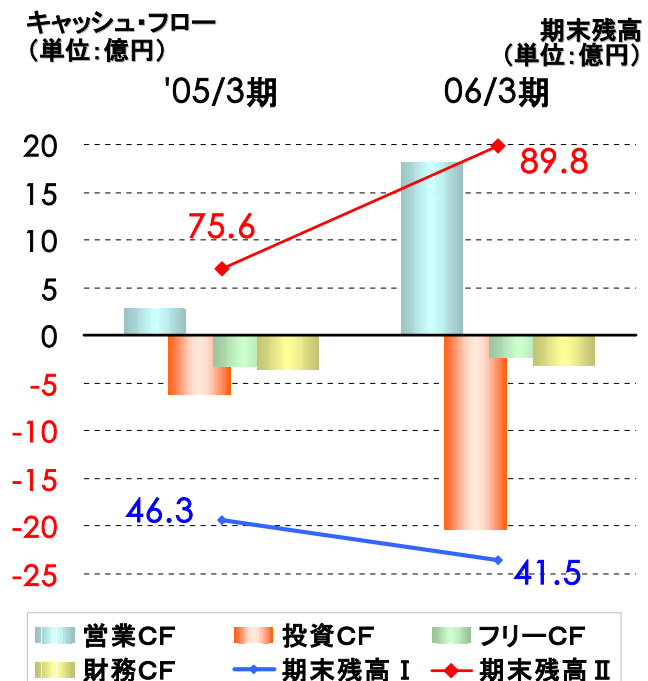
キャッシュ・フロー

◇ 当期の主な資金使途

- 営業CF
 - 退職年金掛金 710百万円
(前期 1,187百万円)
- 投資CF
 - 有形固定資産取得 320百万円
 - 定期預金預入れ 1,766百万円
- 財務CF
 - 短期借入金返済 10百万円
 - 自己株式取得 22百万円
 - 配当金 286百万円

◇ 3か月超の預金・債券含む 資金残高(グラフ期末残高Ⅱ)

- '05/3期 75.6億円
- '06/3期 89.8億円

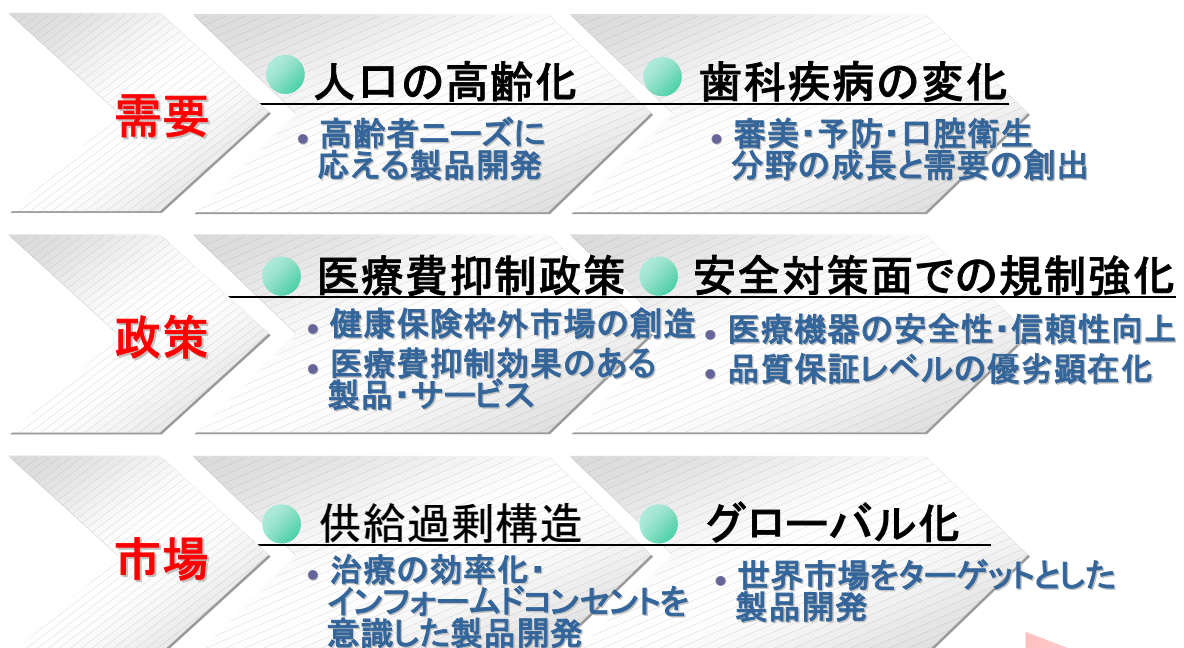


*「期末残高Ⅰ」は、連結キャッシュ・フロー計算書上の「現金及び現金同等物」残高であります。



⇒ 今後の事業環境及び中長期戦略

事業環境の認識と対応の基本的な考え



経営環境の厳しさは継続

経営の重点課題

強化すべき機能

- 品質競争力
- マーケティング力
- 価格競争力

全社目標

- 新製品・新技術による市場の創造とシェアアップ
- 海外事業の拡大

4つの数値目標

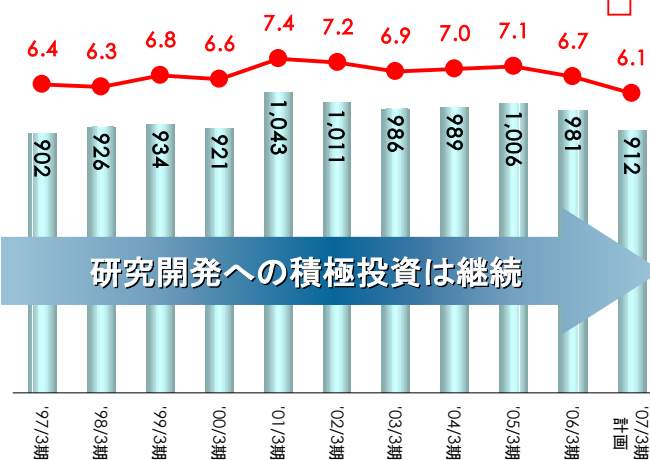
- 海外売上高 30%
- コストダウン 20%
- 新製品売上高 15%
- 国内市場でのシェアアップ

連結営業利益率10%への回復→長期的に15%を目指す

具体的な取り組み——研究開発

- 品質競争力
- マーケティング力
- 価格競争力

■ 研究開発費(百万円)
● 対売上高比率(%)



※ 2006/3期以降の減少は、製造費用への振替(工業化研究費)の増加によるものであります。

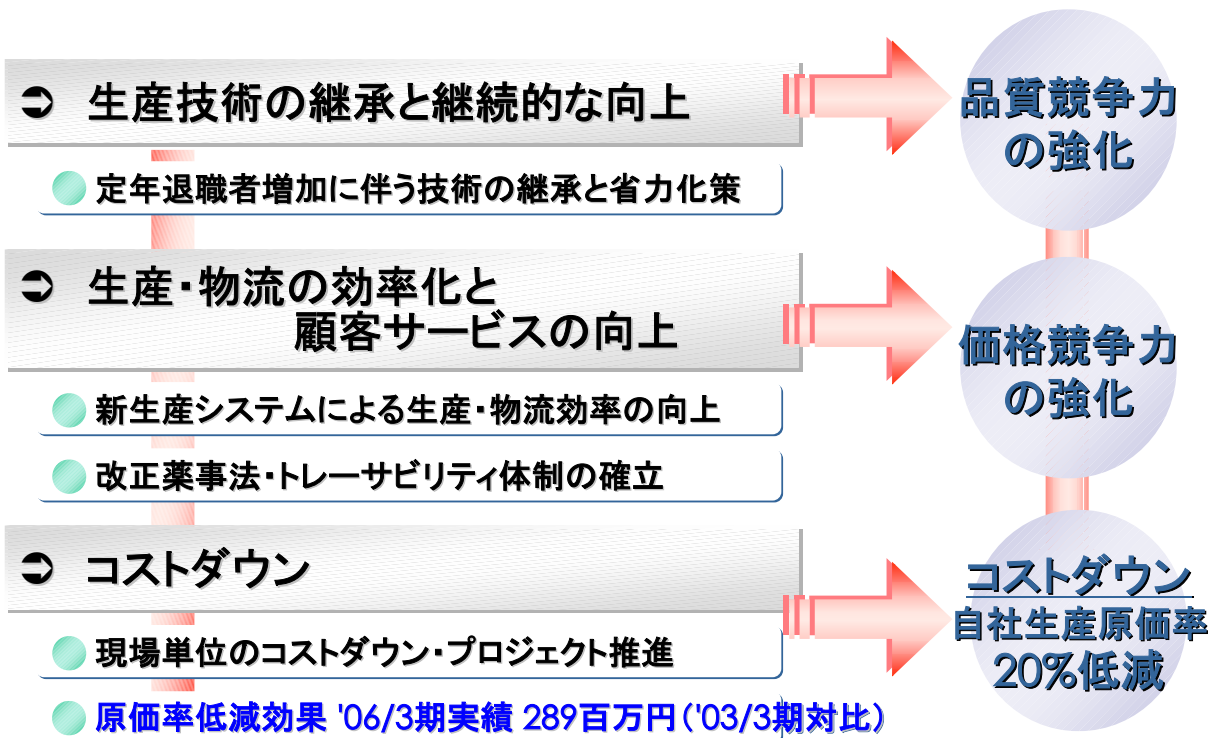
研究開発への積極投資は継続

顧客への
価値の提供

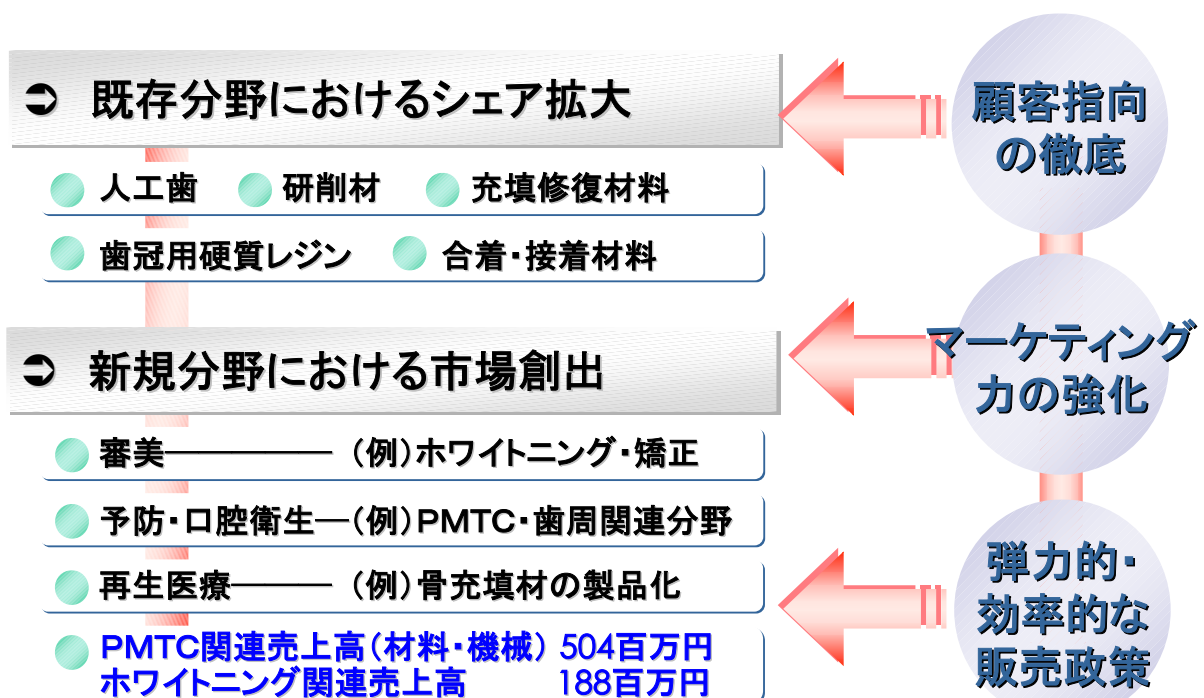
需要の創造

研究効率
・
スピード

具体的な取り組み——生産



具体的な取り組み——国内事業



※ PMTC (Professional Mechanical Tooth Cleaning)
(専門家による機械的歯面清掃)

具体的な取り組み——海外事業

⇒ アメリカ

- 輸出市場開拓—ブラジル・メキシコ
- 器材評価機関への活動強化

⇒ ヨーロッパ

- 人工歯(レジン歯)市場への参入
- 東欧市場の開拓

⇒ アジア

- 中国市場拡大に向けた取り組み
 - ◆ 生産:人工歯・研削材輸出開始→生産品目拡大
 - ◆ 販売:販売品目の拡大
- インド・ベトナム市場の開拓に向けた取組み開始

⇒ マーケティング機能強化

⇒ 新製品投入に向けた戦略的活動

【重点商品】

- ・陶材
- ・歯冠用硬質レジン
- ・充填修復材料

⇒ 2007年3月期 連結業績見通し

次期の概要

P/L

- ◇ 国内では、過去最大の診療報酬引下げなど、歯科医院経営を取り巻く環境は厳しく、間接的に歯科材料需要への影響も懸念
- ◇ 新規発売品は、新製品開発サイクルから小規模にとどまるものの、最近における新製品の市場への浸透に一層注力
 <新製品売上高: 1,454百万円・11.2%>
- ◇ 海外は、各地域とも堅調な伸びを計画、中国販売会社が通期にわたって業績に寄与
- ◇ 売上高は15,019百万円 (2.5%増収)
- ◇ 売上高の増加、海外収益の拡大から、人件費、広告宣伝費、研修センター建設関連費用などの増加を吸収し、営業利益は1,416百万円(8.3%増益)
- ◇ 06/3期における営業外収益のプラス要因の影響から、経常利益は微増益 1,347百万円(0.2%増益)

B/S

- ◇ 顧客(商品ユーザー)向けの研修センター完成

C/F

- ◇ 研修センターほか有形固定資産購入支出673百万円
- ◇ 債券運用を含む期末資金残高 約89億円

SHOFU INC.

24

次期業績見通しの概要

単位: 百万円、%

	2006/3期	2007/3期予想	対比
	金額 (対売上率)	金額 (対売上率)	金額 (率)
売上高	14,650 (100.0)	15,019 (100.0)	368 (2.5)
(国内売上高)	11,350 (77.5)	11,345 (75.5)	△ 4 (△0.0)
(海外売上高)	3,299 (22.5)	3,673 (24.5)	373 (11.3)
営業利益	1,308 (8.9)	1,416 (9.4)	108 (8.3)
経常利益	1,344 (9.2)	1,347 (9.0)	2 (0.2)
当期純利益	822 (5.6)	818 (5.5)	△ 4 (△0.5)
1株当たり当期純利益	49.42円	51.58円	
株主資本利益率	4.39%	4.14%	

(注) 2006/3期の1株当たり当期純利益は、当期純利益から役員賞与額を控除して算出しておりますが、2007/3期予想においては当該金額は考慮していません。

SHOFU INC.

25

製品分類別売上高

金額単位:百万円
()内は構成比率、増減率、単位%

	2006/3期	2007/3期予想	対比
人工歯類	2,697 (18.4)	2,843 (18.9)	145 (5.4)
研削材類	3,659 (25.0)	3,741 (24.9)	82 (2.2)
金属類	462 (3.2)	467 (3.1)	4 (0.9)
化工品類	2,748 (18.8)	2,864 (19.1)	115 (4.2)
セメント類他	1,531 (10.4)	1,548 (10.4)	16 (1.1)
機械器具類その他	3,549 (24.2)	3,553 (23.7)	4 (0.1)
合計	14,650 (100.0)	15,019 (100.0)	368 (2.5)

国内売上高

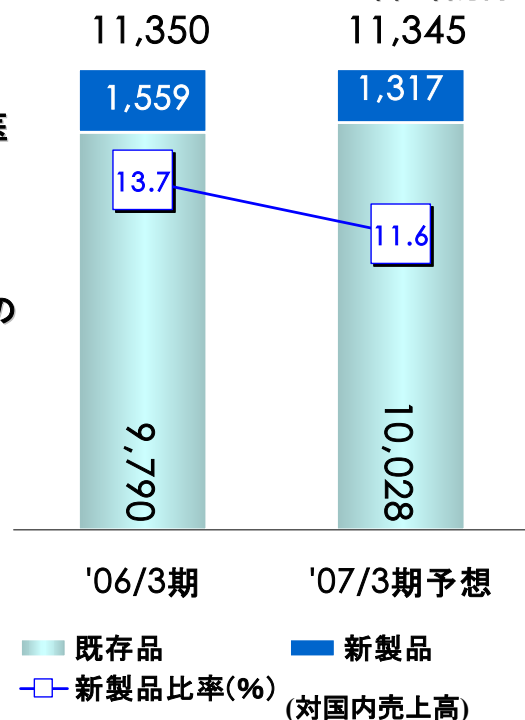
単位:百万円

国内市場の環境認識及び基本方針

- 過去最大の診療報酬引下げなど、歯科医院経営を取り巻く環境は厳しく、間接的に歯科材料需要への影響も懸念
- 新規発売品は、新製品開発サイクルから小規模にとどまる。最近における新製品の市場への浸透に一層注力

新製品の主な減少要因

- 常温重合レジン「プロビナイス」
△206百万円(発売後3年経過)
- 歯科用デジタルカメラ「アイススペシャルI・II」
△149百万円(販売中止・後継未確定)



*「新製品」は、最近3年間の発売品であります。

海外売上高

概要

- 各地域とも堅調な推移を予想
- 中国販売会社初年度計画 384百万円

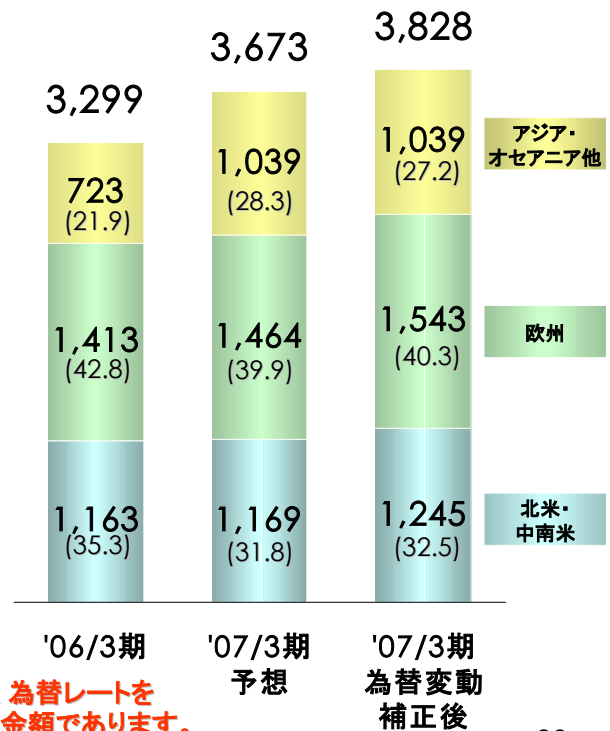
為替レート

- 米ドル 110円←前期 117.47円 (影響 △75百万円)
- ユーロ 135円←前期 142.81円 (影響 △79百万円)

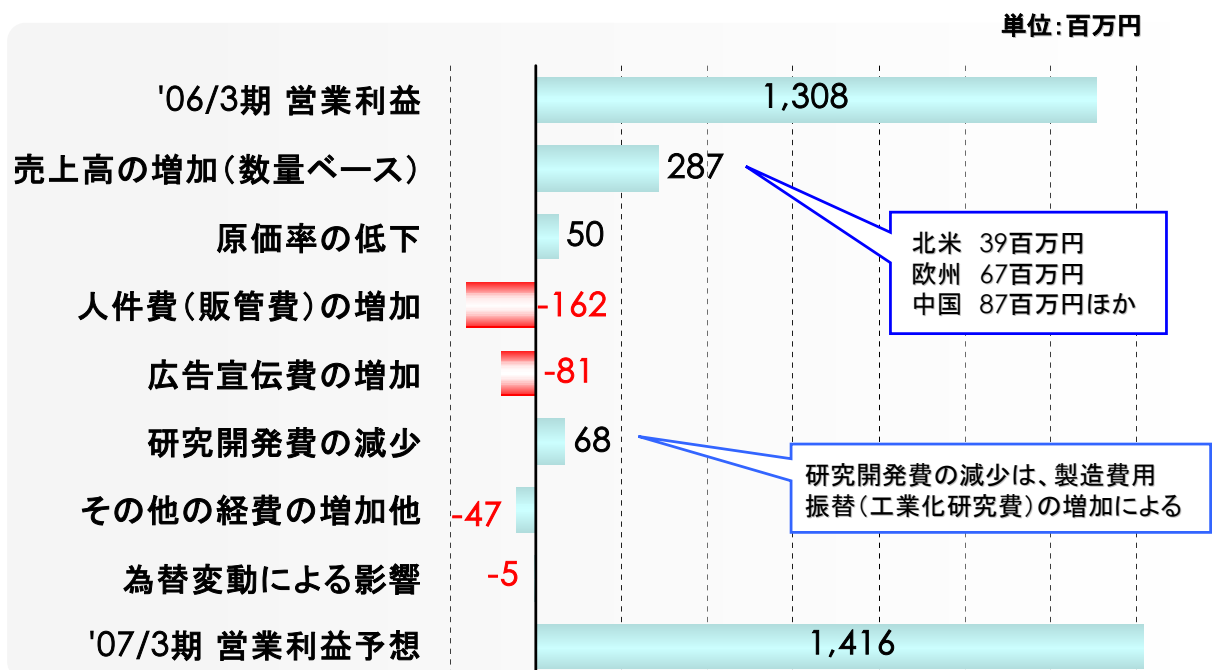
海外売上高比率

- 24.5% (前期 22.5%) (為替変動補正後 25.2%)

金額単位:百万円、()内は構成比率(%)



営業利益の変動要因



財政状態～貸借対照表主要科目

金額単位:百万円

	'06/3期	'07/3期 予想	対比	主な変動要因・特記事項
現金預金	6,558	6,483	△ 74	
受取手形・売掛金	2,518	2,753	235	
棚卸資産	2,910	3,032	122	
有価証券・投資有価証券	7,464	7,464	0	
その他	5,533	5,663	129	
資 産	24,985	25,397	411	
長期・短期借入金	1,035	1,025	△ 10	
退職給付・役員退職引当金	501	537	35	
その他	3,873	3,835	△ 37	
負 債	5,409	5,397	△ 11	
株主資本	19,576	19,999	422	
負債・資本合計	24,985	25,397	411	
株主資本比率	78.4%	78.7%		
1株当たり株主資本	1,231円	1,260円		

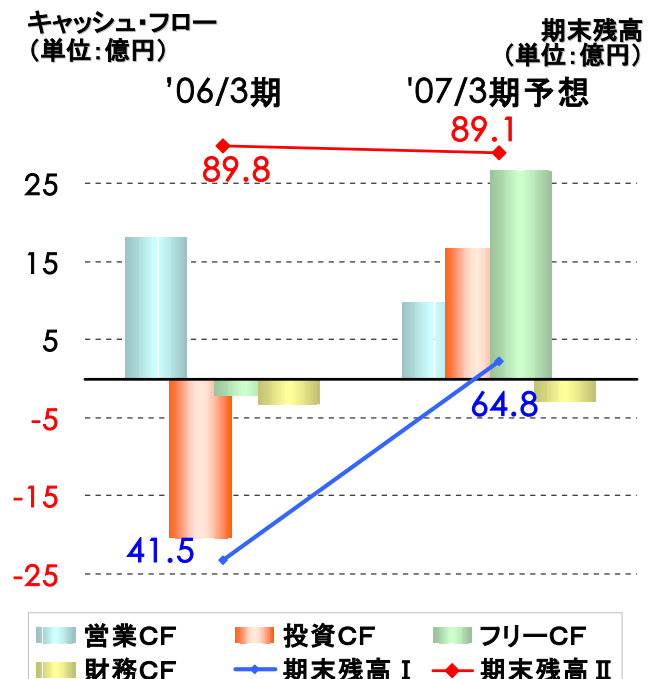
キャッシュ・フロー

◆ 主な資金使途

- 営業CF
 - 退職年金掛金 496百万円
- 投資CF
 - 研修センター建設 427百万円
 - その他設備投資 251百万円
 - 定期預金払戻 2,393百万円 (収入)
- 財務CF
 - 借入金返済 10百万円
 - 配当金 285百万円

◆ 3か月超の預金・債券含む 資金残高(グラフ期末残高Ⅱ)

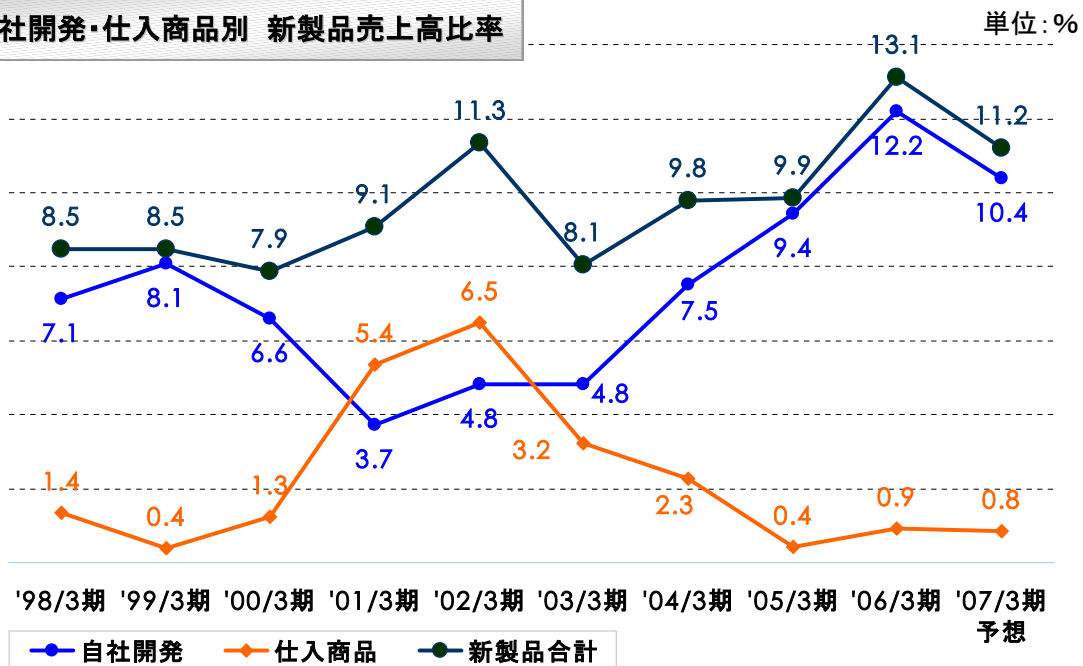
- '06/3期 89.8億円
- '07/3期 89.1億円



*「期末残高Ⅰ」は、連結キャッシュ・フロー計算書上の「現金及び現金同等物」残高であります。

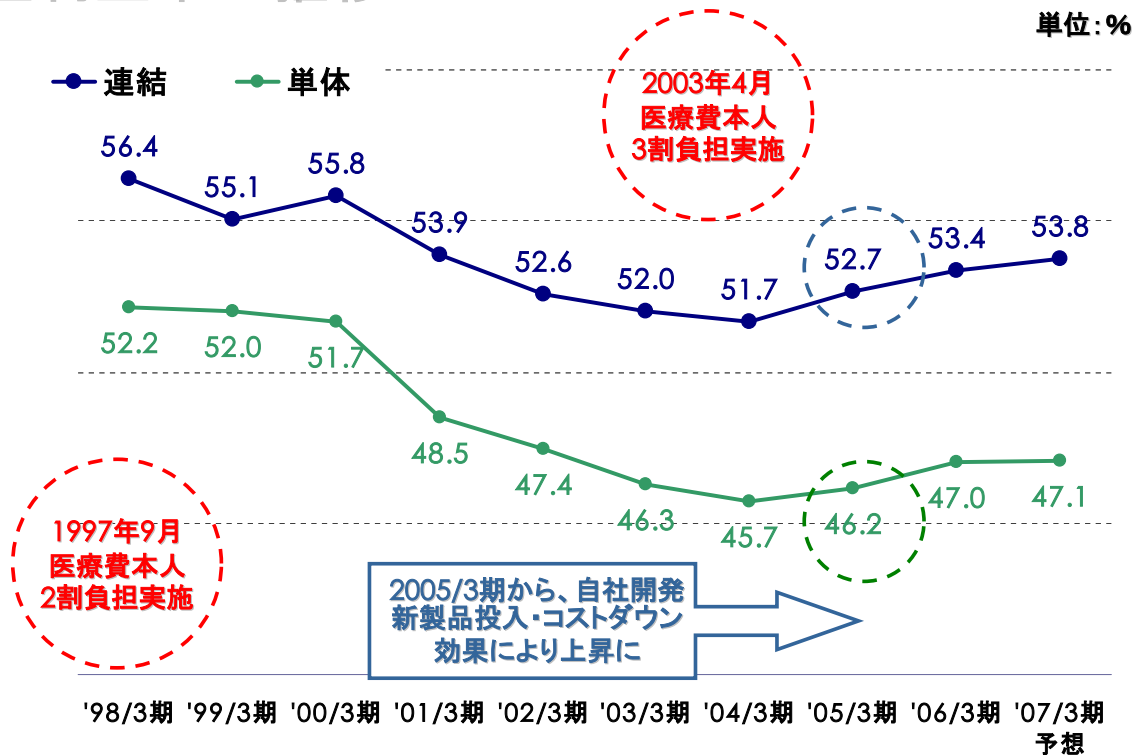
新製品売上高の推移

自社開発・仕入商品別 新製品売上高比率

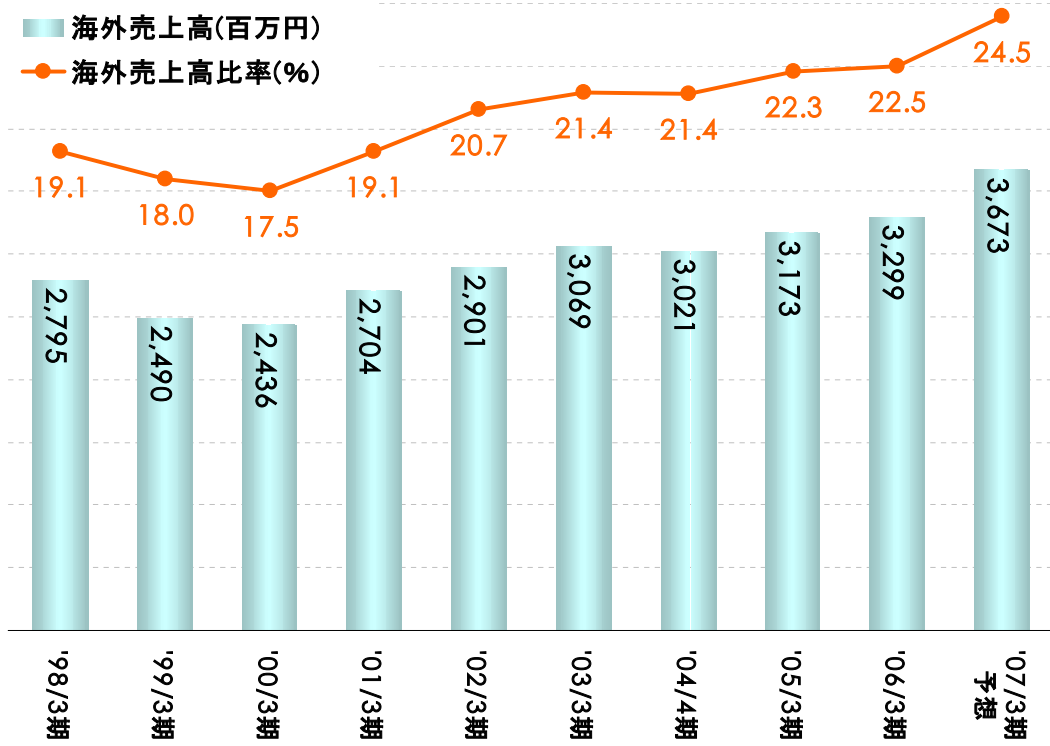


仕入商品の主なもの...J&J商品、レーザ装置、EMS商品

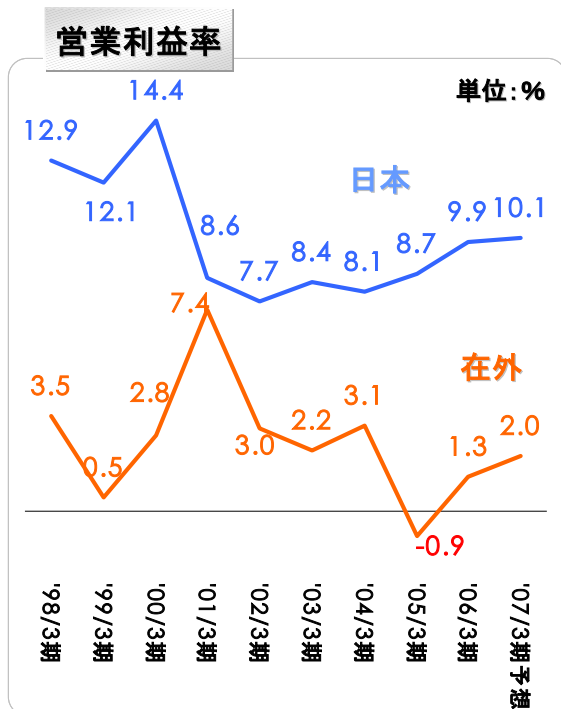
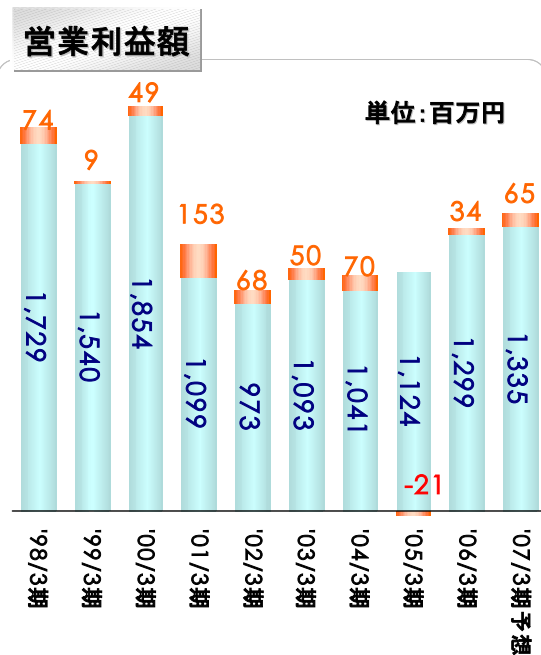
粗利益率の推移



海外売上高・海外売上高比率推移

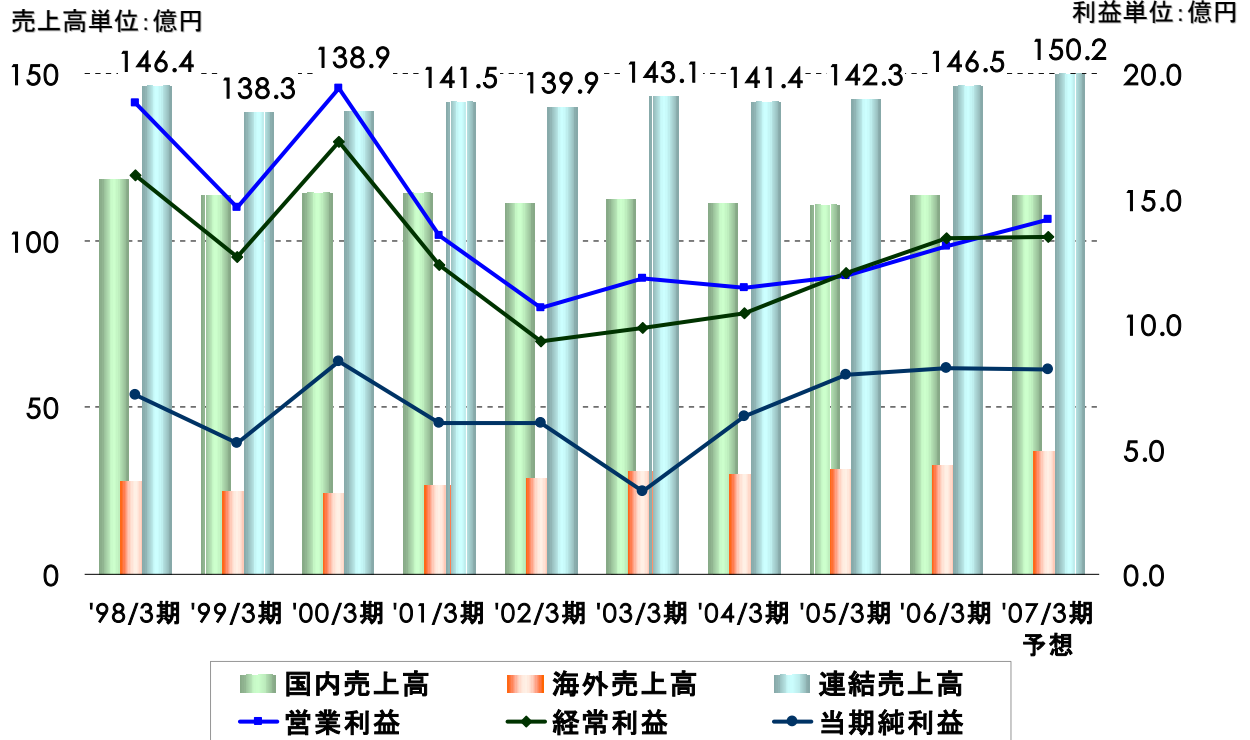


所在地別(日本・在外)セグメント営業利益



(注) 数値は連結消去前の金額・率であります。

業績推移



中期計画—主要数値目標

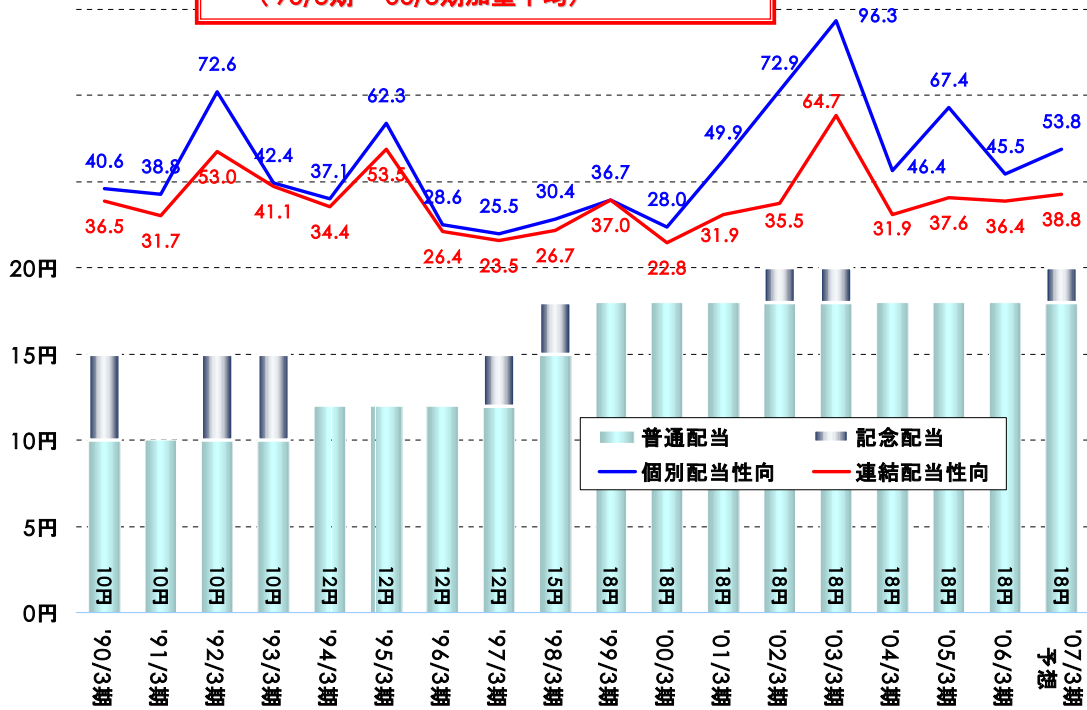
★—過去最高 金額単位: 百万円

	2006/3期 実績	2007/3期	2008/3期	2009/3期
売上高	★ 14,650	★ 15,019	★ 15,392	★ 15,871
(前期比)	(2.9%)	(2.5%)	(2.5%)	(3.1%)
国内売上高	11,350	11,345	11,481	11,707
(前期比)	(2.6%)	(-0.0%)	(1.2%)	(2.0%)
海外売上高	★ 3,299	★ 3,673	★ 3,911	★ 4,164
(前期比)	(4.0%)	(11.3%)	(6.5%)	(6.5%)
営業利益	1,308	1,416	1,914	★ 2,216
(対売上率)	(8.9%)	(9.4%)	(12.4%)	(14.0%)
経常利益	1,344	1,347	★ 1,846	★ 2,147
(対売上率)	(9.2%)	(9.0%)	(12.0%)	(13.5%)
当期純利益	822	818	★ 1,065	★ 1,246
(対売上率)	(5.6%)	(5.5%)	(6.9%)	(7.9%)
1株当たり当期純利益	49.42円	51.58円	67.12円	78.49円
株主資本利益率	4.4%	4.1%	5.2%	★ 5.9%
海外売上高比率	★ 22.5%	★ 24.5%	★ 25.4%	★ 26.2%

2007年3月期退職給付会計導入に伴う会計基準変更時差額(約18億円)の償却(2001/3期~2007/3期・各期256百万円/営業費用処理)が2007/3期で完了いたします。

配当政策

◎ 目標配当性向 30%
 ◎ 上場以降の平均配当性向: 42.9%
 ('90/3期~'06/3期加重平均)



株式の流動性対策—単元株式数の引き下げ

■ 変更の理由

◇ 株価動向を勘案し、株式の流動性向上を目的に実施

■ 変更内容

◇ 1単元の株式数を1,000株から100株に引き下げ

■ 効力発生日

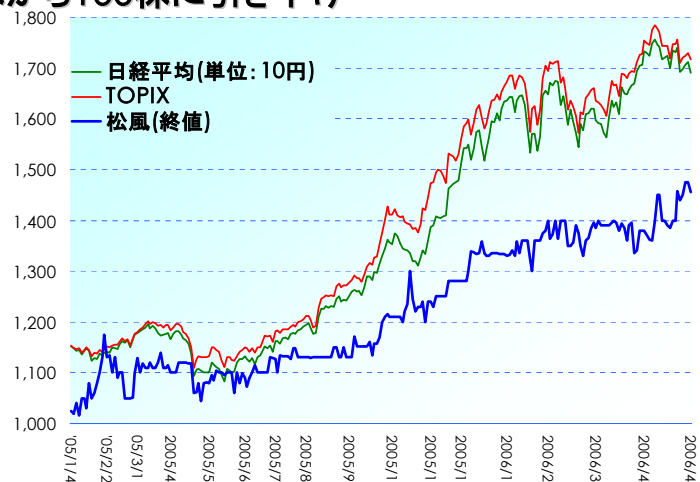
◇ 2006年2月1日(水)

■ これまでの流動性対策

◇ 株式分割 1株:1.5株
(2004年3月31日基準日)

■ ご参考

◇ 最近における株価推移→
(2005年1月~2006年4月)



本資料における予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績
に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって
大きく異なる結果となる可能性があります。

株式会社 松 風

〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11番地

TEL 075-561-1112

FAX 075-561-1227

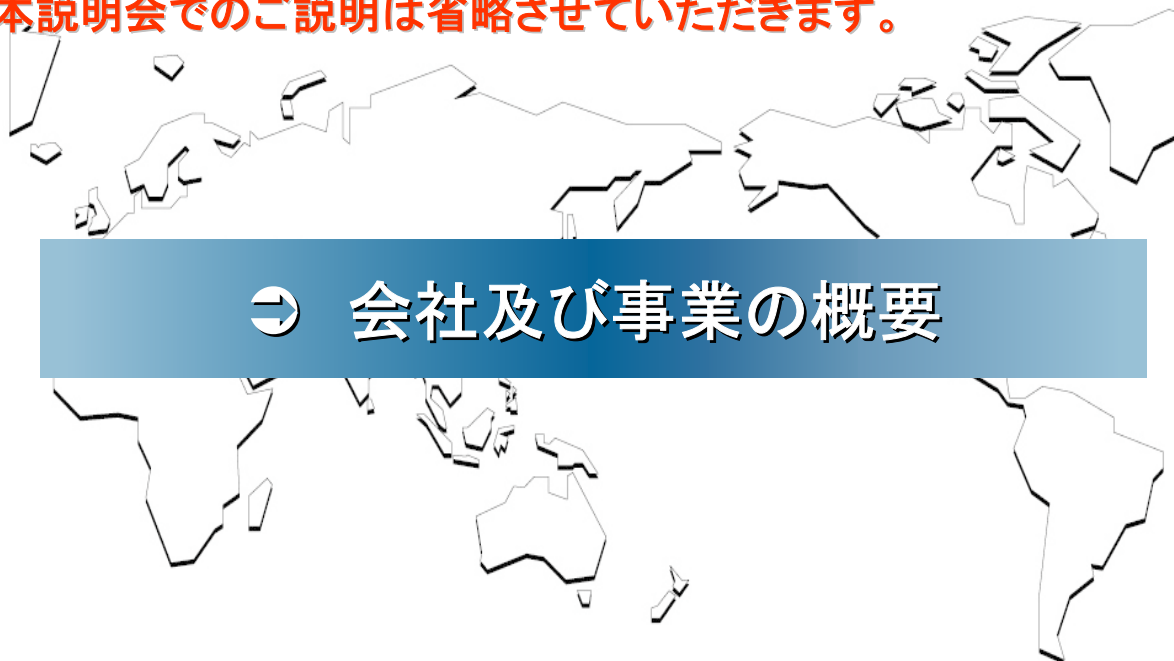
URL <http://www.shofu.co.jp>

E-MAIL ir@shofu.co.jp

お問合せ先 総合企画室



以下のページはご参考資料として作成しているもので
本説明会でのご説明は省略させていただきます。

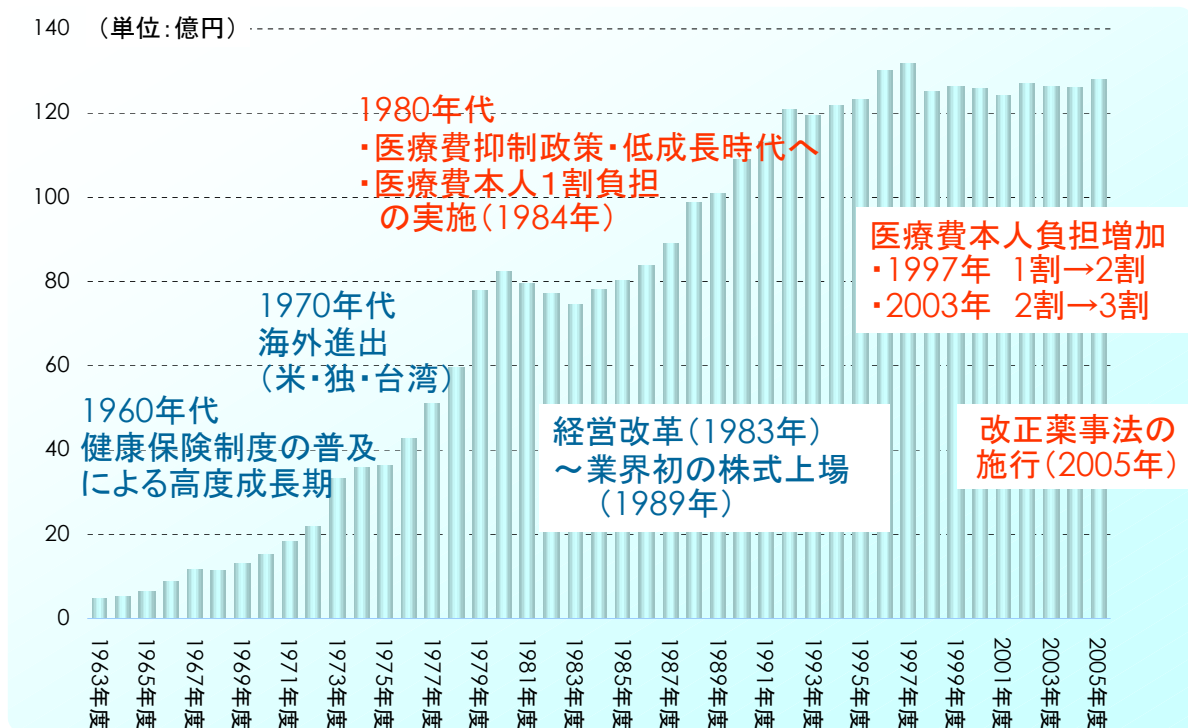


⇒ 会社及び事業の概要

会社の沿革

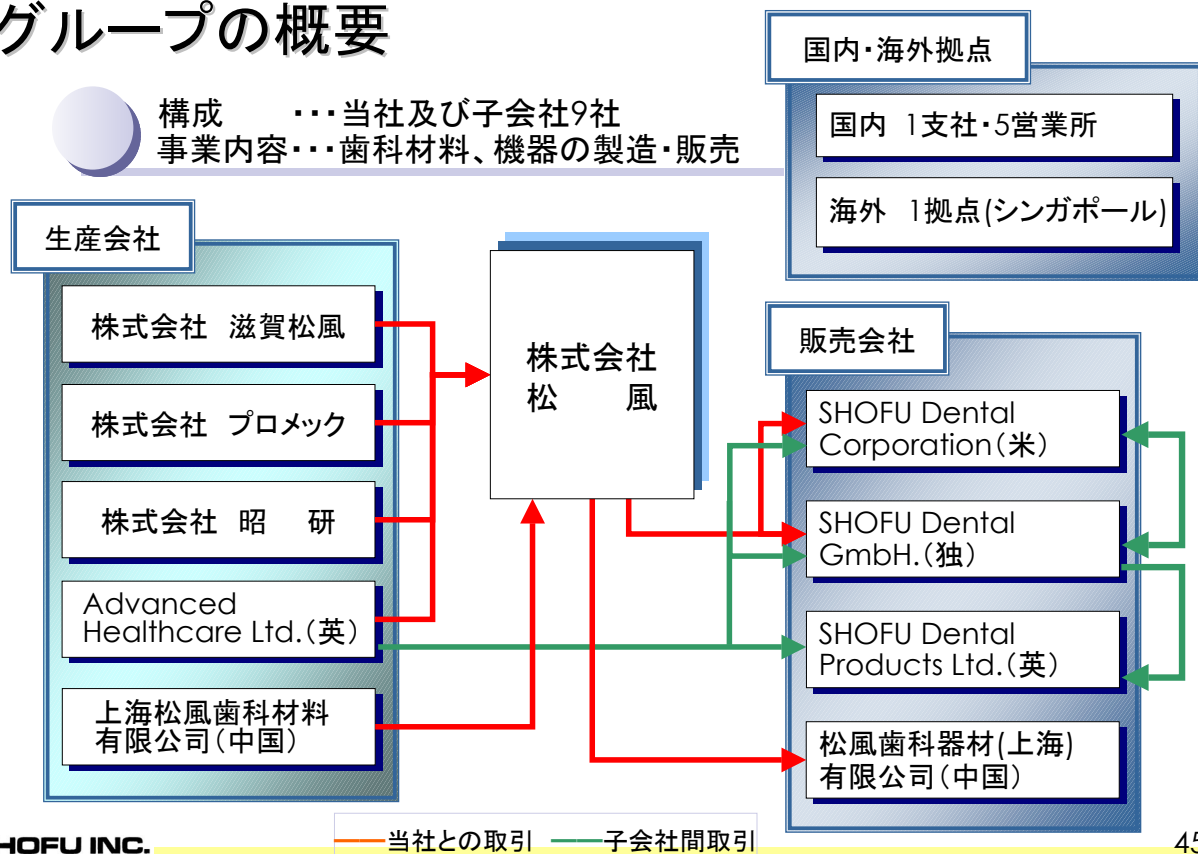
- 1922 松風陶歯製造株式会社設立、国産初の人工歯を開発、発売
- 1963 株式店頭登録
- 1971～1978 米国・ドイツに販売会社を設立、海外生産開始(台湾)
株滋賀松風設立、レジン歯の生産を移管
- 1983 株松風に社名変更、経営改革に着手
- 1989 株式上場
- 1990～1997 英国における研究開発・生産会社設置(買収)及び販売会社設立
英国品質保証規格(GMP)の認証取得、CEマーキング認証取得
- 1996 株プロメック設立、上海駐在員事務所開設
- 2002～2003 創立80周年(2002年5月)、北京駐在員事務所開設
環境マネジメントシステム(ISO14001)認証取得(本社・全社)
- 2004 中国(上海)での生産拠点 上海松風歯科材料有限公司設立
- 2005 株式交換により、株昭研を完全子会社化(2月)
台湾での生産拠点 台湾松風(股)の解散及び清算(3月)
顧客サービスの向上を目指した研修センターの建設着工(7月)
中国での販売拠点 松風歯科器材(上海)有限公司を設立(8月)

会社の沿革～売上高の推移



グループの概要

● 構成 ……当社及び子会社9社
事業内容……歯科材料、機器の製造・販売

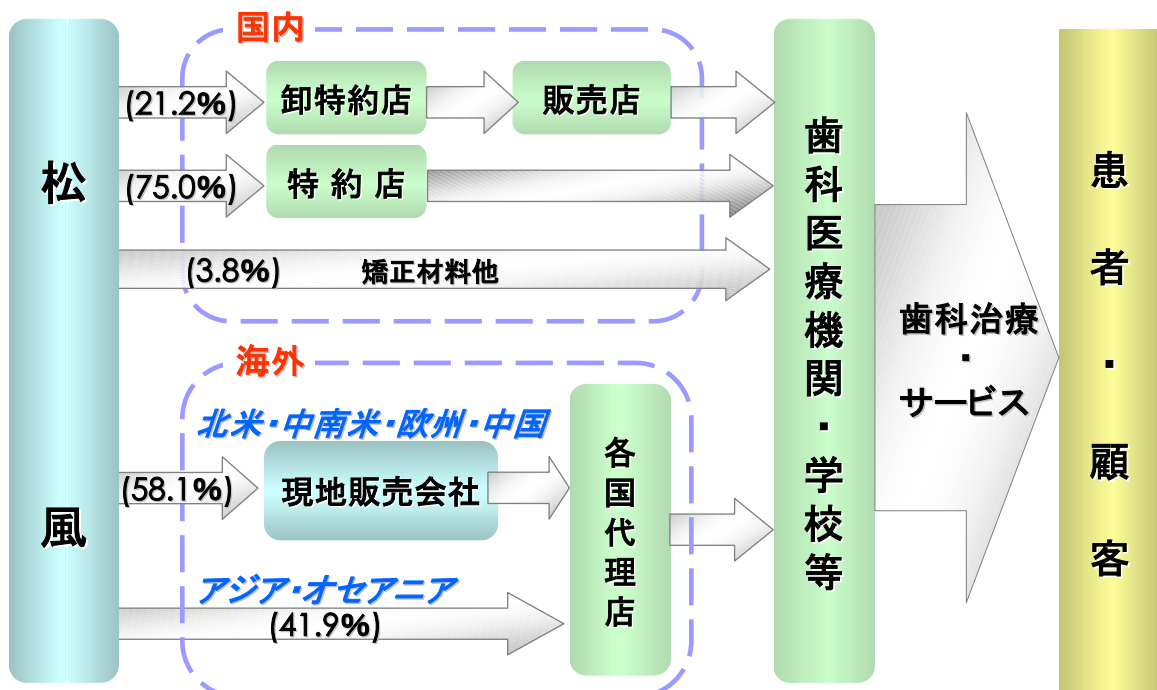


事業内容——主要歯科医療分野と事業の関係

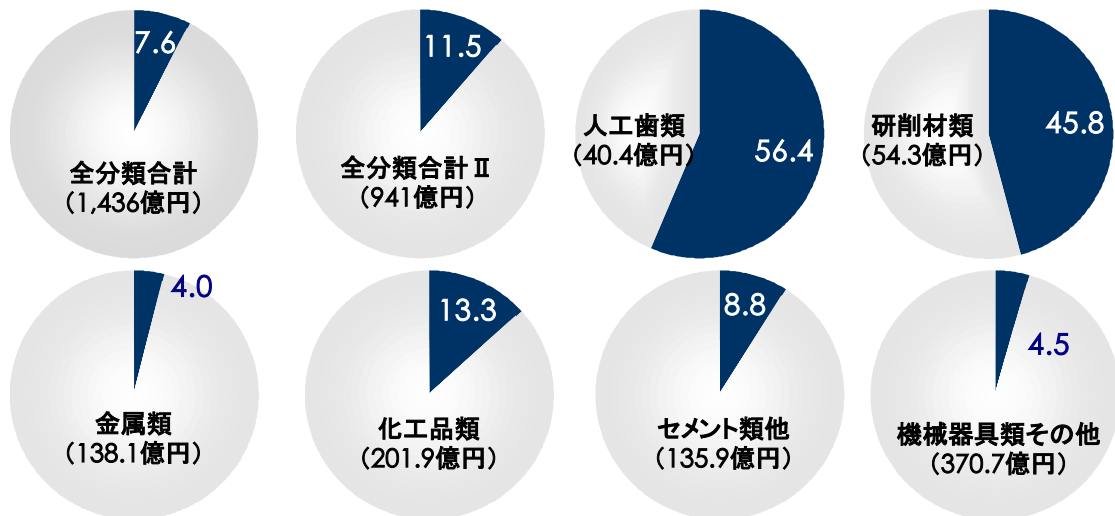
製品分類 診療形態	人工歯類	研削材類	金属類	化工品類 (樹脂・印象材・ワックス)	セメント類他 (セメント・石膏・埋没材)	機械器具類その他
義歯関連	・硬質レジン歯 ・レジン歯 ・陶歯	・研削材 ・研磨材	・金属材料	・印象材、ワックス ・床用材料 ・即時重合レジン ・常温重合レジン・裏装材	・石膏、埋没材	・鑄造機、重合器、咬合器 ・技工用エンジン、 ・義歯洗浄剤
歯冠補綴	・陶材	・研削材 ・研磨材	・金属材料	・歯冠用硬質レジン ・印象材・ワックス	・合着用セメント ・合着用レジンセメント ・合着用ガラス ・アイオノマーセメント	・鑄造機、焼成炉 ・重合器、咬合器 ・測色計 ・技工用エアタービン
充填修復	—	・研削材 ・研磨材	—	・印象材、ワックス ・光重合型 ・コンポジットレジン ・接着材	・充填用ガラス ・アイオノマーセメント ・裏層用セメント ・仮封用セメント	・光重合器
口腔衛生	—	・研磨材	—	—	—	・液体歯磨剤、歯垢染色剤 ・洗口剤、歯間ブラシ、フロス ・歯面清掃器 ・超音波スケーラー
その他	—	—	—	・歯科用レーザー装置 ・歯科用デジタルカメラ ……診療用器具・機械 ・歯面漂白剤「ハイライト」 ……ホワイトニング関連製品	—	・根管治療用器材 ・予防・衛生材料 ・診療用器具・機械 ・技工用器具・機械 ・感染予防関連製品 ・ホワイトニング関連製品 ・矯正用各種器材

販売ルート

()内はルート別売上高構成比率(2006/3期・単体ベース)
中国は2006年1月～3月実績のみ



商品分類別マーケット・シェア



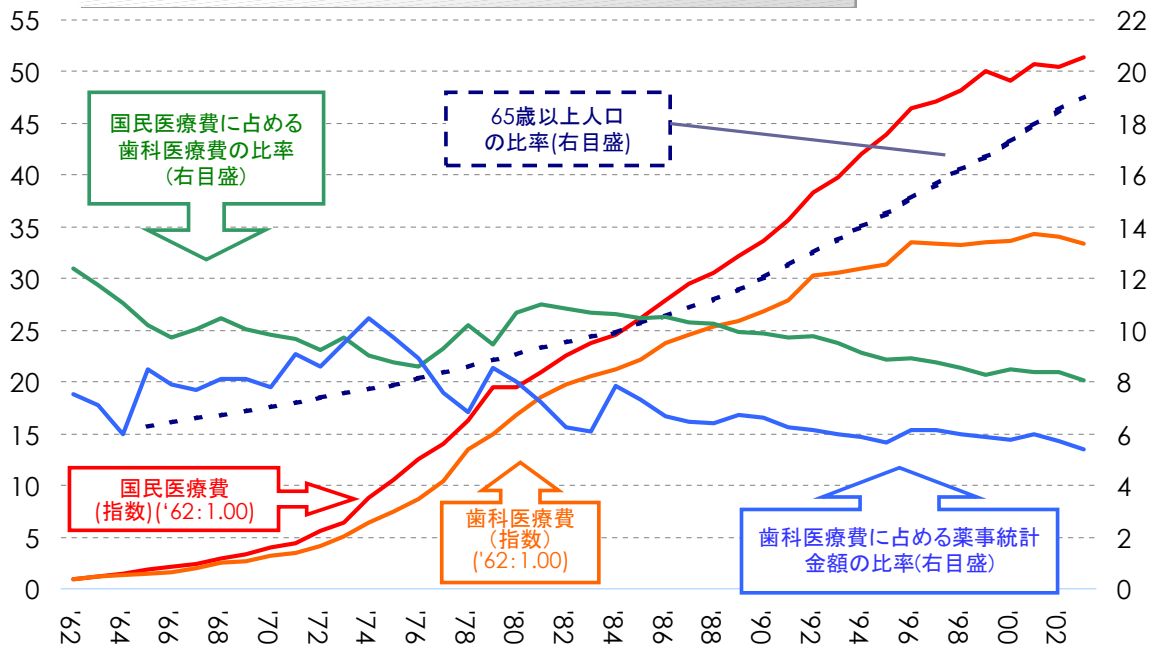
「全分類合計」は、「金銀パラジウム合金」「歯科診療室用機械装置」を含むシェアであり、「全分類合計Ⅱ」及びその他のシェアはすべて「金銀パラジウム合金」「歯科診療室用機械装置」を除くシェアであります。

厚生労働省 薬事工業生産動態統計
(メーカー出荷額)に基づく
(2004年 国内)
単位: %、()内は市場規模

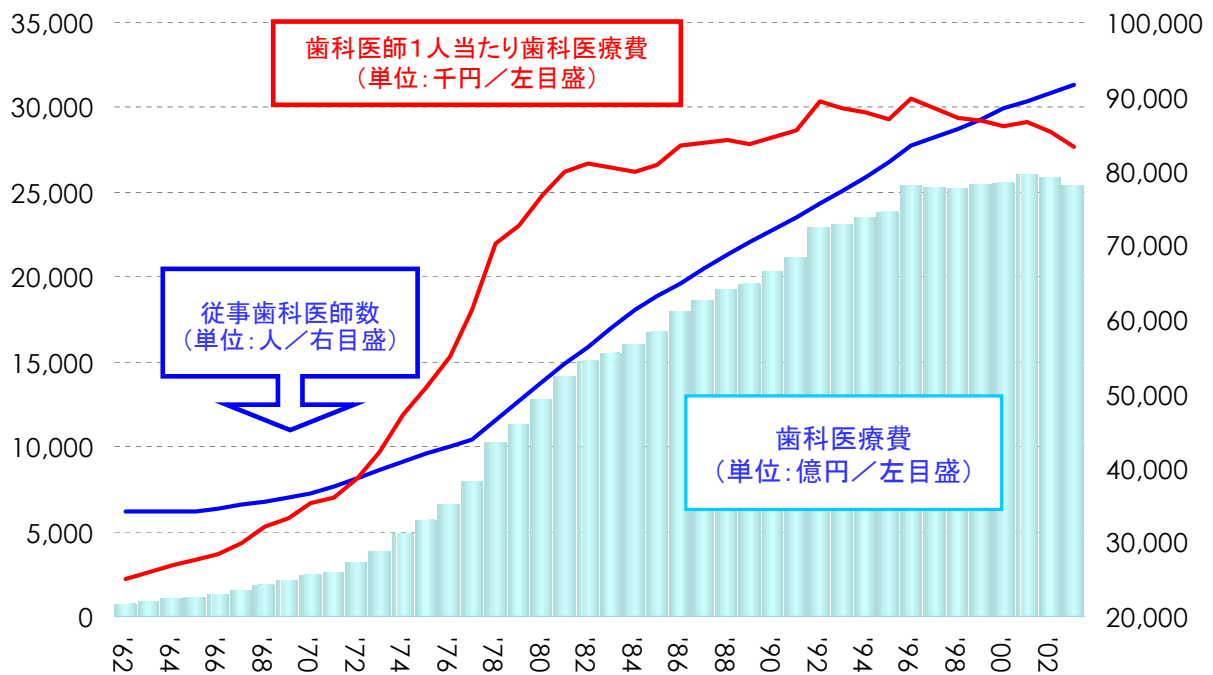
⇒ ご参考<歯科関係データ>

歯科関連統計の長期推移

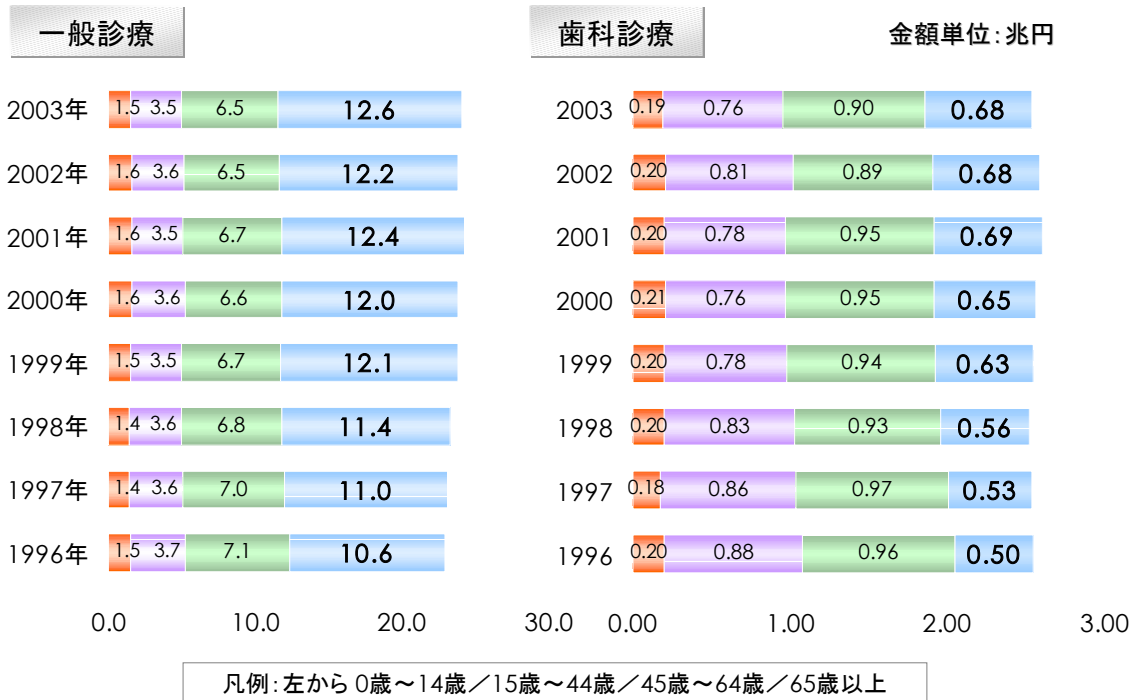
国民医療費・65歳以上人口の比率・歯科医療費構成比率・薬事統計出荷額構成比率の推移(1962年～2003年)



歯科医師数と歯科医療費の推移

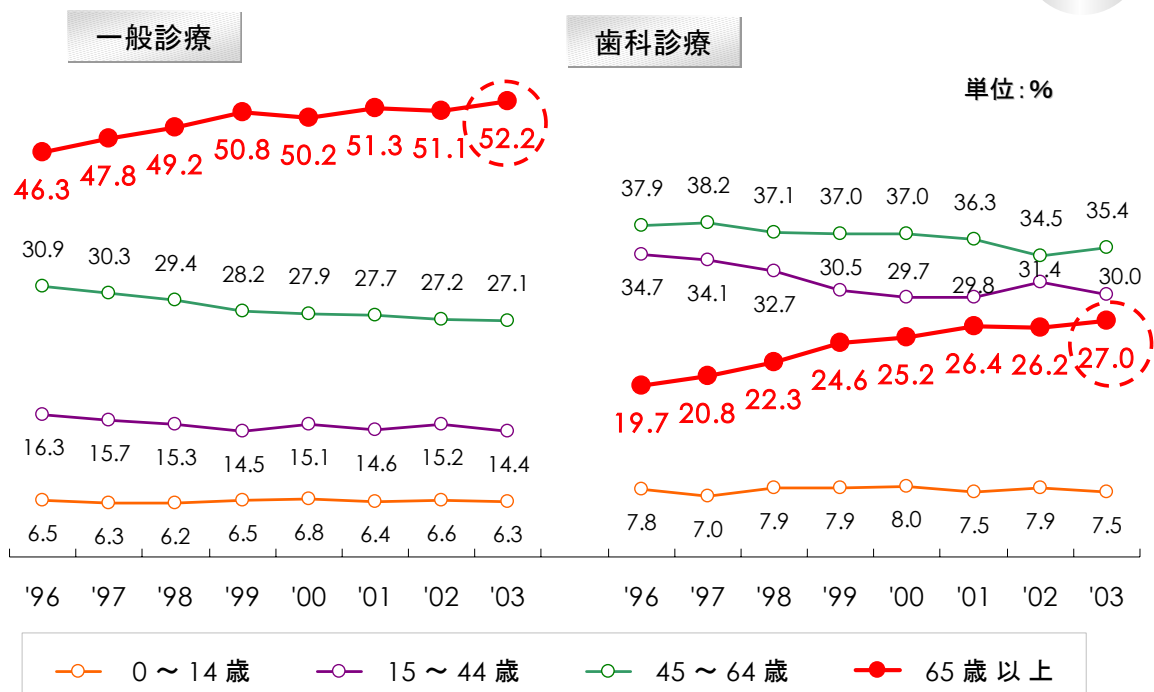


年齢層別医療費(金額)

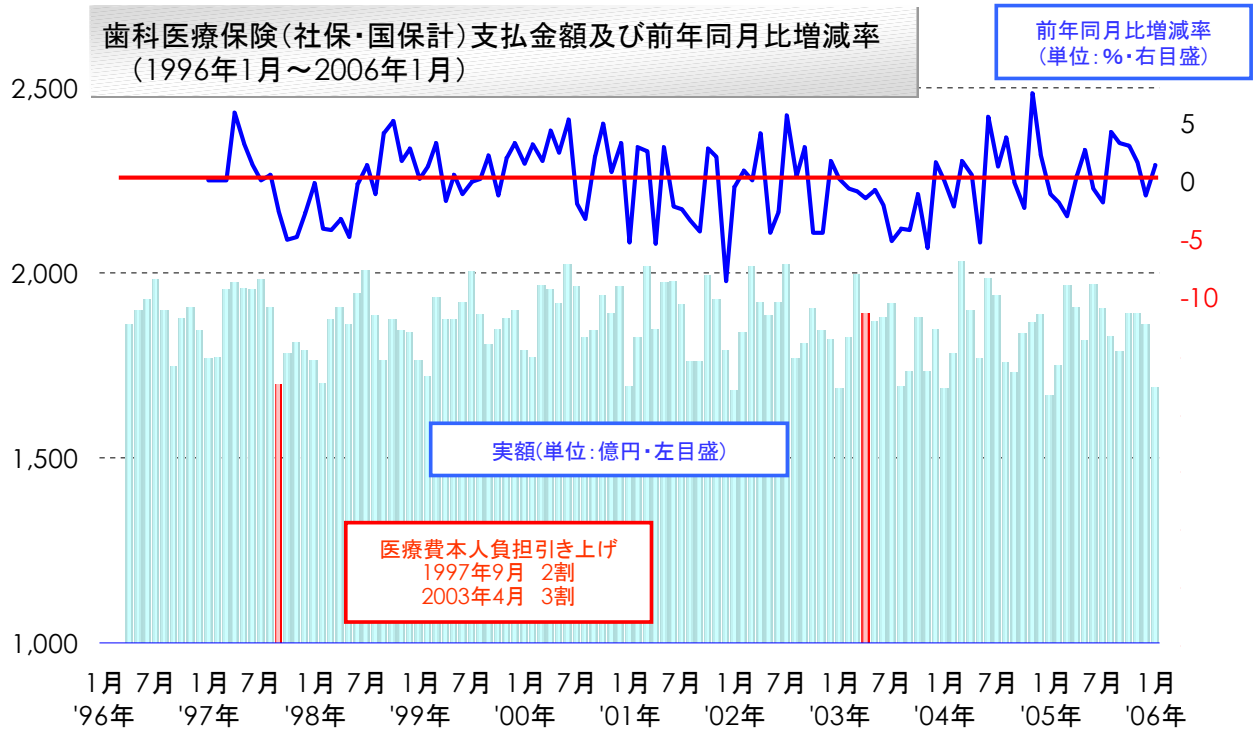


年齢層別医療費(構成比)

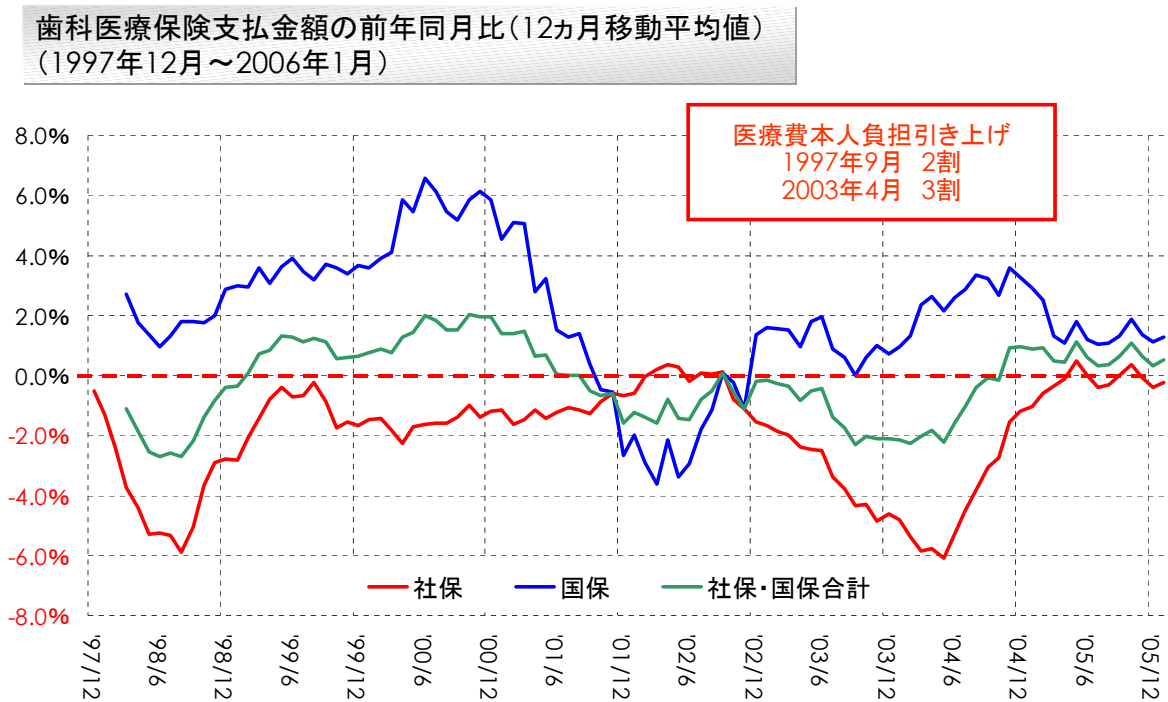
65歳以上の高齢者のウェイトは一般診療分野に比べ歯科は低い



歯科医療費動向



歯科医療費動向



薬事統計出荷額推移

